

### 3 年 国 語 科 学 習 指 導 案

1. 日 時 令和6年11月18日(月) 第5時限 (13:35~14:20)

2. 学年・組 3年〇組(在籍〇名)

3. 単元名 「きょうみを持ったことをしょうかいしよう」

教材(「せっちゃくざいの今と昔」 東京書籍)

4. 単元の関連と系統

前単元(4月)	本単元(11月)	次単元(11月)
<p>読んで考えたことをつたえ合おう 「自然のかくし絵」 ○段落ごとの内容を確認、「自然のかくし絵」とはどういうことかを考えることができる。</p>	<p>興味を持ったことを紹介しよう 「せっちゃくざいの今と昔」 ○興味を持ったことについて、伝えたいことの中心が分かるように要約して紹介することができる。</p>	<p>「道具のひみつをつたえよう」 (書く) ○調べたことを整理しながら、レポートを書くことができる。</p>

5. 学習目標

○興味を持ったことについて、伝えたいことの中心が分かるように要約して紹介することができる。

- ・考えとそれを支える理由や事例,全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。
- ・「読むこと」において,目的を意識して,中心となる語や文を見つけて要約しようとする。

6. 評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
<p>・考えとそれを支える理由や事例,全体と中心など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>・「読むこと」において,目的を意識して,中心となる語や文を見つけて要約している。 ・「読むこと」において,文章を読んで感じたことや考えたことを共有し,一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。</p>	<p>・進んで文章を要約し,学習の見通しを持って,まとめたことを伝え合おうとしている。</p>

7. 指導にあたって

(児童観)

本学級の児童は,新たに学習する事に興味・関心が高く,どの教科の学習に対しても積極的に取り組む姿が多く見られる。その一方で,自分の考えを発表する場面になると,多くの児童が,「間違えることが恥ずかしい。」「誰かが言ってくれるだろう。」という意識が強く,発表しにくい姿が見られた。そこで,「チャレンジ」を合言葉に,4月からどの学習においても課題に取り組んできた。少しずつではあるが,間違えることを恐れず,間違えたとしても何度も課題に挑戦してみようとする姿が増えてきている。

4月に学習した説明文教材の「自然のかくし絵」では,段落の内容を捉えることをねらいとし,段落ごとの内容を確認めながら,題名の「自然のかくし絵」とはどういうことかを考えた。文章中の「問い」と「答え」の関係を

意識しながら、内容を読み進め、最後に自然のかくし絵を読んで分かったことを自分の言葉で表現した。大事な言葉や文を確認しながら読み取っていったが、自分で文章を表現することにおいては、大事な言葉が抜けてしまったり、文章をまとめきれずに全文を書いてしまったりと、一人一人の表現する力は十分とは言えなかった。自分の考えを書くことに関しては、書き始めるまでに時間がかかったり、自分が書いた考えに自信を持っていなかったりと、自分の考えを書くことに苦手意識がある児童もいた。

そこで、自分の考えに自信を持って発表できること、または自分の考えを深めることを目的として、ペア交流やグループ交流を積極的に設けてきた。グループ交流の際、自分は課題をどのように考えたかを、ノートを見せながら発表することで、互いの考えを共有できるようになってきた。課題を途中までしかできていない児童にも、グループの児童のノートを見ながら良いところを真似ようとする姿が見られるようになってきた。苦手な課題にも、根気強く取り組む児童が増えてきた。

また、聞き方については、友達の考えを最後までしっかりと聞く姿勢がついてきている。しかし、友達の考えを聞くことが中心になってしまい、友達の考えを聞いてどう思ったのか、自分の考えと友達の考えの似ている所や違う所はどこなのかという所を意識して聞き、伝えることに関しては課題がある。そのため、「自然のかくし絵」では、付箋を利用しながら、友達の考えを聞いて思ったことを書いて伝える活動を行った。そうすることで、目的意識をしっかりと持って聞くことができるようになり、聞いて考えたことについて、友達に伝えられるようになってきた。しかし、友達の考えに対して意見を持って、伝え合うことについてはまだ不十分である。

#### (単元観)

本教材は、接着剤について説明した文章である。身の回りにある様々な物をくっつける働きのある接着剤の今と昔を説明しているこの文章は、のりや接着剤を使って物をくっつけた経験がある児童にとっては身近で興味深い題材だと言える。工場で作られた今の接着剤と自然にある物から作られた昔ながらの接着剤、それぞれの良さについて触れながら、それぞれの特徴に合った使い方をすることが暮らしを豊かにしていると述べられている。そして、接着剤が身の回りのどのようなところに使われているのか、また、工場で作られている今の接着剤と、自然にある材料を使っている昔の接着剤とではどのような違いがあるのかなど、様々な観点から接着剤について知ることができる。

その中から、接着剤のどんなことに興味を持ったのかを明確にしながら読み、伝えたいことの内容が相手に分かるように要約していく。要約するためには、文章の中から大事な言葉や文を見つけることが必要である。身の回りの様々な物に使われている接着剤について多様な内容が述べられているので、自分の考えを持つことや、自分で文章をまとめることが苦手な児童にとっても、興味を持って大事な言葉や文を見つけていくことができる。また、要約した文章を互いに紹介し、感想を伝え合う活動を意識させることで、主体的に要約することに取り組むことができ、友達の考えに対して意見を持ちにくい児童も目的意識を持ちながら聞き、友達の考えに対して感想を持つことができる。

以上のことから、本教材は児童自身が伝えたいことを紹介するために、大事な言葉や文を見つけて要約することに適した教材である。

#### (指導観)

本単元では、接着剤について興味を持ったことを紹介する言語活動を設定した。自分が興味を持ったことを紹介するためには、興味を持ったことの内容が相手に分かるように要約する必要がある。そのため、接着剤のどのようなことに興味を持ったのかを明確にしながら読み進めていくようにする。

第I次では、題名や写真を見て、のりを使った経験や、接着剤が身の回りでのどのように使われているかを想起させ、教材への興味・関心を高めていくようにする。そして、全文を通読後、「一番心に残ったこと」を中心に初発の感想を書く。その後、本単元では、接着剤について興味を持ったことを、伝えたいことの内容が分かるように要

約して、紹介し合う学習を行うことを確認し、学習の見通しを持てるようにする（方法①）。

第Ⅱ次では、文章の構成を捉えて、「始め」「中」「終わり」の3つのまとまりに分ける。その後、段落の内容や段落相互の関係に着目しながら、「中」をさらに3つのまとまりに分ける。その際、接続する語句にも着目してまとまりを捉えるようにする。そして、中①、中②、中③のそれぞれのまとまりの中で、興味を持ったことを、伝えたいことの内容が分かるように要約するために、まずは大事な言葉や文を見つけて表に整理していく。自分の考えを書くことが苦手な児童も、まずは書かれている内容が捉えられるように、大事な言葉や文にサイドラインを引き、全体で確認しながら表に整理していく。表に整理したことをもとにしながら、中①、中②、中③のそれぞれのまとまりの中で、接着剤について興味を持ったことを要約していく。表に整理したものの中から、どの言葉や文を使って要約するのかを考え、伝えたいことの内容が分かるように、言葉や文をつなげて、短くまとめるようにする。文章をまとめることが苦手な児童には、ヒントとなる文型や接続詞の例を用意する。表に整理したものの中から、一緒に大事な言葉や文を見つけて要約していくようにする（方法④）。グループ交流では、大事な言葉を使って要約した文章を伝えていく。その中で、要約文の似ているところや違うところにも着目し、同じところに興味を持っていても、取り上げている言葉や文に違いがあることにも気付けるようにする。初めにその活動を示しておくことで、友達考えに対して意見を持ちにくい児童も目的意識を持って聞き、友達の意見に対して感想を持つことができる。そして、互いに興味を持ったことが分かるように、紹介する際には、話型を使用していく。中①、中②、中③のそれぞれで事例となっている接着剤について、興味を持ったことを選び、要約することを丁寧に取り組むことで、書くことが苦手な児童や文章をまとめることが苦手な児童も、自分で考えを持って要約していくことができる。

第Ⅲ次では、これまでの学習を振り返る。興味を持ったことを紹介するためには、どんな所に気を付けて文章を要約したかを振り返られるようにする。そして、次單元である「道具のひみつをつたえよう」で、調べたことを整理する時に、要約する力を生かしていけるように意識付けをする。また、全時間を通して「なしともも（何ができるようになったか、知ったことは何か、友達の意見から学んだことは何か、もっと知りたいことは何か）」を意識した振り返りを行うことで、毎時間の中で、自分ができるようになったことや友達の考えを聞いて考えたこと等をしっかりと確かめて、次時に向けての意欲につなげていくようにする（方法②）。

8. 学習指導計画（全10時間）

次	時	学習活動	指導・支援・評価（◇）
I	1	<p>○教材文の内容を想像する。</p> <p>○単元全体の見通しを持つ。</p> <p>○全文を通読し、初発の感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題名や写真を見て、のりを使った経験や、接着剤が身の回りのどのような物に使われているかを想起させ、教材への興味・関心を高めるようにする。</li> <li>・興味を持ったことについて、伝えたいことを紹介するために、本単元では「要約する」力を身につけるという見通しが持てるようにする。</li> <li>・「一番心に残ったこと」を中心に書くようにする。</li> </ul> <p>◇観点に沿って初発の感想を書いている。</p>
	2	<p>○初発の感想を交流する。</p> <p>○意味調べをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりして、学習への意欲を持つことができるようにする。</li> </ul> <p>◇自分の考えと友達の考えを比べて、似ている所や違う所を見つけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の大体の内容が捉えやすいように、意味の分からない言葉の意味を調べるようにする。</li> </ul> <p>◇国語辞典を使い、当てはまる内容を選択しながら、意味調べをしている。</p>
II	3	<p>○教材文を読み、文章の構成を捉えて、「始め」「中」「終わり」の3つのまとまりに分ける。</p> <p>○「中」に書かれている内容をさらに3つのまとまりに分ける。</p> <p>○5つに分けたまとまりごとに、大体の内容を捉える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書かれている内容を確認、全体を「始め」「中」「終わり」に分けるようにする。「中」はつなぎ言葉に着目しながら、書かれている内容のまとまりごとにさらに3つに分け、全体を5つのまとまりに分けるようにする。</li> </ul> <p>◇書かれている内容に合わせて、5つのまとまりに分けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5つに分けたまとまりごとに、どのようなことが述べられているか、大体の内容を捉えられるようにする。</li> </ul> <p>◇段落相互の内容に着目して、大体の内容を捉えることができる。</p>
	4	<p>○大事な言葉や文を見つけ、「中」に書かれている内容を表に整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書かれている内容に沿って、大事な言葉や文に、サイドラインを引くようにする。</li> <li>・書かれている内容が捉えられるように表に整理していくようにする。</li> </ul> <p>◇大事な言葉や文はどれかを考え、表に整理することができる。</p>

5	<p>○「中[1]」の文章を表に整理したことをもとに、大事な言葉を使って要約する。</p> <p>○要約した文章を紹介し、感想を伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中[1]」の文章を表に整理したことをもとに、どの言葉や文を使って要約できるようにする。</li> <li>・伝えたいことの中心が分かるように、言葉や文をつなげて、要約できるようにする。</li> <li>・自分の言葉で書きかえたり、言葉を補ったりして、分かりやすい文章になるようにする。</li> </ul> <p>◇伝えたいことの中心が分かるように要約している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに要約した文章をくらべて、似ている所や違う所、良かった所等を考えて、相手に伝えるようにする。</li> </ul> <p>◇自分が伝えたい文章の中心が、相手に分かるように伝えることができる。</p>
6	<p>○大事な言葉を見つけ、「中[2]」に書かれている内容を表に整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書かれている内容に沿って、大事な言葉や文に、サイドラインを引くようにする。</li> <li>・書かれている内容が捉えられるように表に整理していくようにする。</li> </ul> <p>◇大事な言葉はどれかを考え、表に整理することができる。</p>
7	<p>○「中[2]」の文章を表に整理したことをもとに、大事な言葉や文を使って要約する。</p> <p>○要約した文章を紹介し、感想を伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中[2]」の文章を表に整理したことをもとに、どの言葉や文を使って要約できるようにする。</li> <li>・伝えたいことの中心が分かるように、言葉や文をつなげて要約できるようにする。</li> <li>・自分の言葉で書きかえたり、言葉を補ったりして、分かりやすい文章になるようにする。</li> </ul> <p>◇伝えたいことの中心が分かるように、要約している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに要約した文章をくらべて、似ている所や違う所、良かった所等を考えて、相手に伝えるようにする。</li> </ul> <p>◇自分が伝えたい文章の中心が、相手に分かるように伝えることができる。</p>
8	<p>○大事な言葉を見つけ、「中[3]」に書かれている内容を表に整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書かれている内容に沿って、大事な言葉や文に、サイドラインを引くようにする。</li> <li>・書かれている内容が捉えられるように表に整理していくようにする。</li> </ul> <p>◇大事な言葉はどれかを考え、表に整理することができる。</p>

	<p>9 (本時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中[3]」の文章を表に整理したことをもとに、大事な言葉や文を使って要約する。 体にとって安全 古いものにも安心</li> <li>・要約した文章を紹介し、感想を伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中[3]」の文章を表に整理したことをもとに、どの言葉や文を使って要約できるようにする。</li> <li>・伝えたいことの中心が分かるように、言葉や文をつなげて、要約できるようにする。</li> <li>・自分の言葉で書きかえたり、言葉を補ったりして、分かりやすい文章になるようにする。</li> <li>◇伝えたいことの中心が分かるように、要約している。</li> <li>・互いに要約した文章をくらべて、似ている所や違う所、良かった所等を考えて、相手に伝えるようにする。</li> <li>◇自分が伝えたい文章の中心が、相手に分かるように伝えることができる。</li> </ul>
III	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味を持った要約を選び、その理由を伝え合う。</li> <li>・終わりの部分を読み、筆者の考えをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要約した文章を読み直し、どんなところに気を付けて文章を要約したか、どの要約がよいかを振り返るようにする。</li> <li>・興味を持った要約を選び、その理由を話し合い、似ている所や違う所、良かった所等を考えて、相手に伝えるにする。</li> <li>◇単元の学習を振り返り、身に付けた要約する力を確かめることができている。</li> <li>・まとめの段落を読み、筆者の考えをまとめる。</li> </ul>

9. 本時の学習（9／10時）

(1) 目標

- ・ 大事な言葉をおさえながら、筆者の考えを要約することができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点（指導者の指導・支援）	評価規準
<p>1. 前時の学習を振り返り、本時の学習を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習コーナーを確認しながら、本時は、中[3]の文章の中で伝えたいことの中心が分かるように要約して、要約した文章を紹介し合うことを確認できるようにする。</li> <li>・ 要約することについて振り返るようにする。</li> </ul>	
<p>めあて：大事な言葉をおさえながら、中[3]をようやくしよう。</p>		
<p>2. ⑨～⑩段落を音読する。 ・ 一斉読み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ⑨～⑩段落の内容を確かめながら、読むようにする。</li> </ul>	
<p>3. 表に整理したことをもとに、大事な言葉を使って要約する。 ・ 体にとって安全 ・ 古いものにも安心</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表に整理したことをもとにしながら、伝えたいことの中心が分かるように、言葉や文をつなげて、100字以内で短くまとめるようにする。</li> <li>・ 自分で文章をまとめることが苦手な児童には、ヒントカードや接続詞の一覧表を活用できるようにする。</li> <li>・ 自分の言葉で書きかえたり、言葉を補ったりして、分かりやすい文章になるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝えたいことの中心が分かるように要約している。</li> </ul>
<p>4. 要約した文章を紹介し、感想を伝え合い、要約文を、全体で考える。 グループ→全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノートに書いた自分の要約をグループの他の児童に提示し、話型を使いながら、グループで紹介できるようにする。</li> <li>・ 互いに要約した文章を比べて、良かった所、興味を持ったことが伝わるように要約できているか、同じところを要約している場合は似ている所や違う所等を考えて、相手に伝えるようにする。</li> <li>・ グループで紹介した要約を全体の場で発表できるようにする。（全体）</li> <li>・ 中[3]の要約文を整理した表をもとに考えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分が書いた要約を分かりやすく伝えている。</li> <li>・ 友達の発表を聞いて、感想を伝えている。</li> </ul>
<p>5. 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「なしともも」の振り返りの視点を提示し、何ができるようになったか、知ったことは何か、友達の意見から学んだことは何か、もっと知りたいことは何か等を振り返ることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「なしともも」の視点で、自分の学びの振り返りを書いている。</li> </ul>

(3) 板書計画

③ <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           中3の要約文         </div>	わたしは○○と○○を使って、ようやくしました。(ようやく文)	中3	まとまり	④ 大事な言葉をおさえながら、中3ようやくしよう。  せつちやくざいの今と昔  早川 典子
	⑩	⑨	だん落	
	い やくざ や くざ せ っ ち て い る 使 わ れ か し て さ を 生 の の よ あ る も 自 然 に	事 れ い	ようやくにひつような言葉や文	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ しゅう理するときに使われる。</li> <li>・ 百年前からある</li> <li>・ 使い方やがす方法も分かっている</li> <li>・ 米やにかわが活やくしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トウモロコシやジャガイモ</li> <li>・ じょうざいを作るときに使う。</li> <li>・ くすりのこなをかためる</li> <li>・ 食べられるざいりょうでできている</li> <li>・ 体の中の水と温度でゆっくりとける。</li> </ul>	大事な言葉	
も 安 心 古 い も の に	体 に と っ て 安 全			

10. 指導を終えて (成果○と課題●)

【個別最適な学びにつながる個に応じた授業づくり】

- 前時までに要約する場面について、重要な語句や文などを表に整理していたことで、子どもたちがスムーズに学習を進めることができた。
- 要約する前に子どもたちと一っしょに大事な言葉を押さえていたことで、要約する際でもしっかりと大事な言葉を要約文に入れることができた。
- 壁面に学習コーナーを設けることで、今までの学習をもとに要約することができた。

【子どもが主体性を発揮できる授業づくり】

- 要約する制限として、文字数に規定を設けたことは、要約文を作る過程で良かった。
- 文字数を100字設定としたが、100字のマスをいっぱいには要約文を書こうとしてしまい、要約に必要な文や単語を用いている子どもが多かった。文字数をもっと減らした方が良かった。
- 話し合いで用いる言葉が、「同じ」や「ちがう」が中心になっていた。「なぜこの文を使ったの」かなど、質問の方法も掲示した方が良かったのではないかと考える。

